

競技・審判上の注意

- 1 この大会は、本年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定により行われます。
- 2 選手の変更は原則として認めません。
- 3 開場は7時45分とします。会場へは試合開始予定時刻の30分前までに到着して下さい。
- 4 今大会では、競技開始前の公式練習を以下のように行いますので、譲り合って使用してください。
 - ・8時15分から10分交替の4回転で実施（8時55分終了）
 - ・各選手1回のみを使用
 - ・1コートを6人で使用することを目安。（出場者数264名：12面×6名×4回転＝288名想定）
 - ・全面を使用するラリー練習を禁止。同一校で1コートを使用していたとしても全面練習は行わない。（各校の出場選手数によって差が生じるため、ご理解ください。）
- 5 試合の進行状況に応じ、試合開始時刻及びコートを変更する場合があります。放送に注意して下さい。
- 6 試合が連続する場合のインターバルは特に設けません。また、試合前の練習は一切認めませんので、すぐにコートインして試合を始めてください。
- 7 ゲーム中のインターバルは、定められたポイントに達したとき（15点ゲームではいずれかのサイドが8点に達したとき）に60秒、3ゲームマッチにおいては各ゲーム間に120秒とることができます。
- 8 本大会は、すべて15点3ゲームマッチ（延長ゲームあり21点まで）とします。
- 9 敗者トーナメントは、実施しません。ご了承ください。
- 10 主審が認めたタイム以外は一切認めません。
- 11 次のような行為は厳に慎んで下さい。
 - （1）汗拭きや靴の紐の締め直しなどで、故意にプレーを中断すること。なお、汗拭きは原則としてインターバル中に行ってください。
 - （2）長いサーバーの静止、遅いレシーバーの構え
 - （3）相手を威圧するような行為
 - （4）ラリー間にコート内を不必要に歩き回るなど遅延行為と疑われるもの
- 12 試合中の抗議、異議は一切認めません。疑問点がある時は礼儀正しく主審に質問して下さい。ただし、質問することが出来るのは当該選手のみといたします。主審の判定に服しない時は、その試合を放棄したものとみなします。
- 13 試合中の水分補給はふた付きの容器を使用してください。コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースは設けません。各自、バック等を持参し入れてください。
- 14 各種別優勝者にはダブルス優勝者にヨネックス杯（持ち回り）、シングルス優勝者にラケットショップ杯（持ち回り）を授与します。また、入賞者にはトロフィーを授与します。
- 15 今大会はシャトルコック持ち寄りとし、2種検定球以上のシャトルとします。
- 16 審判は全て村山地区の生徒が行う予定です。万が一、補助員の人数が足りない時は、敗者審判制をとることもあります。
- 17 競技中はユニフォームの背面に所属校が明記されているものを着用するか、ゼッケンを貼り付けるようお願いいたします。
- 18 昼食時間等は特に設けません。各自の判断で適宜とってください。また、貴重品の管理については各自の責任で行うものとし、盗難や破損について主催者側では責任を負いません。
- 19 選手の怪我等については、各校の責任で対応をお願いいたします。
- 20 試合の進行をスムーズにするため、試合後の監督およびコーチ等による指導は、次の試合の進行の妨げにならない範囲でお願いいたします。